

トピックス

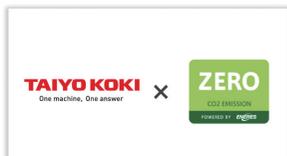
●本社工場 CO₂排出量ゼロ電力へ切替

当社は2021年7月より、本社工場にCO₂排出量ゼロの電力のノンカーボンメニュー*を導入いたしました。今回の切り替えによって、当社が排出するCO₂全体のうち電力購入由来である約70% (2020年実績・年間約1,522トン) を削減できる見込みです。

当社の研削盤は風力発電のタービンに用いられるベアリングの仕上げ加工に使用されるなど、グリーンエネルギー関連業界を通してCO₂排出量の削減に役立てられております。このことから当社は、技術開発や製品の販売を通して地球環境の保護に貢献したいと考えてきました。

今回の電力切替も、地球環境保護に対する社会的責任の高まりや脱炭素化に向けたニーズを踏まえて実施するものです。今後は生産工程やサプライチェーン全体でのCO₂排出に着目し、脱炭素で持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

*環境価値の付与によって、電力購入由来のCO₂排出量をゼロにするサービス。株式会社エナリス(本社:東京都千代田区)提供。



●新工場用地 2022年3月末に取得を決定

当社は、新工場の建設を計画している新潟県長岡市西部丘陵東地区の工場用地について、2022年3月末の取得を決定いたしました。

当初2018年5月に、生産能力の増強を目的として当該土地を取得することを決定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により業績への影響が見込まれたため、取得時期の決定を延期しておりました。

取得する土地は面積約10.5ヘクタール、現在の本社工場の約5倍の広さです。

今後は、この土地を利用して「2030年に売上高200億円」という目標を達成すべく、組織体制の整備・生産能力の拡大を図り、お客様へ高精度・高品質な研削盤を安定的に提供できる体制を確立してまいります。



・地図:国土地理院地図データをもとに当社作成
・航空写真:以下の著作物を改変して利用「地理情報(GIS)航空写真」、長岡市、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス表示4.0国際

(2021年6月30日現在)

会社概要

●設立年月日	1986年3月14日	●ネットワーク	国内拠点 本社・工場(長岡) 東部営業所(さいたま) 中部営業所(名古屋) 西部営業所(大阪)
●資本金	700,328,200円	●海外拠点	中国(上海) アメリカ(シカゴ) ヨーロッパ タイ(アマタナコン)
●発行可能株式総数	18,000,000株		
●発行済株式の総数	5,956,400株		
●本社所在地	新潟県長岡市西陵町221番35		
●従業員	236名		
●主な事業内容	工作機械(各種研削盤)の開発・製造及び販売		

●株主メモ	
事業年度	1月1日～12月31日
期末配当金 受領株主確定日	12月31日
中間配当金 受領株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月

株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 TEL 0120-782-031 (通話料無料)

上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.taiyokoki.com (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

Webサイトのご紹介

<https://www.taiyokoki.com>



当社ではWebサイトで当社の企業情報を随時開示しています。製品情報や当社の取り組み等を掲載しているほか、IR情報のページでは決算短信等がご覧いただけます。



関連サイト YouTubeチャンネルのご紹介



関連サイトとして、当社のYouTubeチャンネルを開設しております。当社の会社紹介、立形研削盤を始めとした各種研削盤の加工動画等がご覧いただけます。



TAIYO KOKI

One machine, One answer

第37期 [中間期]

Business Report

2021年1月1日 ▶ 2021年6月30日

株式会社太陽工機

証券コード 6164

株主の皆様へ



株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社における第37期中間期(2021年1月1日から2021年6月30日まで)の事業の概況をとりまとめましたので、ここにご報告を申し上げます。ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

2021年9月

代表取締役社長 渡辺 剛

当中間期(第2四半期)の営業概況

当第2四半期累計期間の工作機械業界は、日本工作機械工業会が発表した工作機械受注実績(2021年1月1日から2021年6月30日まで)が前年同期比で71.2%増加しました。新型コロナウイルスの感染拡大を主因とした設備投資需要の急激な減速が見られた前年同期に対し、当第2四半期累計期間においては、依然として先行きの不透明感はあるものの世界的に復調の動きが見られました。

当社を取り巻く受注環境も同様に改善傾向にあり、受注高は前年同期比で67.7%増加しました。地域別では、いち早く感染拡大を抑制した中国で前年同期比93.5%増、ワクチンの接種が進む欧州で同176.7%増と回復が著しく、このほか日本で同63.6%増、米州で同25.4%増と世界的に回復基調で推移しました。

当社では、引き続きニューノーマルに対応しながら直接お客様にお会いしての商談・展示会を実施しております。これまで景気の不透明感から設備投資を様子見されてきたお客様の動きが活発化し始めており、足元の引合件数は2020年3月以来の水準へ回復している状況です。さらに当社では、2021年7月26日に職域による新型コロナワクチン接種の2回目を完了し、今後さらに営業活動を円滑に進められるものと考えております。お客様の設備投資需要をタイムリーに取り込みつつ、生産リードタイムの短縮に努めることで、当期売上上の積み上げを図ってまいります。

当第2四半期累計期間の受注高は3,408,968千円(前年同期比67.7%増)となりました。

売上高につきましては、2,831,642千円(前年同期比23.1%減)となりました。損益につきましては、営業利益129,004千円(前年同期比56.1%減)、経常利益185,483千円(前年同期比36.8%減)、四半期純利益123,611千円(前年同期比37.1%減)となりました。

なお、当期は中間配当といたしまして、1株当たり15円を実施することとなりました。期末配当も1株当たり15円を予定しており、年間配当では30円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当中間期の業績

売上高
28億31百万円

営業利益
1億29百万円

経常利益
1億85百万円

四半期純利益
1億23百万円

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



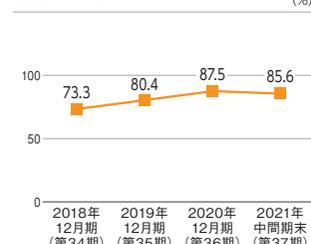
純利益 (百万円)



純資産 (百万円)



自己資本比率 (%)



品目別売上高構成比



財務諸表

(注)金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前期末 2020年12月31日現在	当中間期末 2021年6月30日現在
【資産の部】		
流動資産	6,082,648	6,254,737
固定資産	1,255,246	1,184,021
(有形固定資産)	(990,420)	(946,889)
(無形固定資産)	(61,238)	(60,822)
(投資その他の資産)	(203,587)	(176,310)
資産合計	7,337,895	7,438,759
【負債の部】		
流動負債	626,377	1,073,908
固定負債	290,761	—
負債合計	917,139	1,073,908
【純資産の部】		
株主資本	6,420,755	6,364,851
資本金	700,328	700,328
資本剰余金	532,380	532,994
利益剰余金	5,188,968	5,223,267
自己株式	△921	△91,738
純資産合計	6,420,755	6,364,851
負債純資産合計	7,337,895	7,438,759

損益計算書

(単位:千円)

科 目	前中間期 自2020年1月1日 至2020年6月30日	当中間期 自2021年1月1日 至2021年6月30日
売上高	3,683,666	2,831,642
売上原価	2,772,781	2,129,946
売上総利益	910,885	701,696
販売費及び一般管理費	617,325	572,691
営業利益	293,559	129,004
営業外収益	5,689	63,093
営業外費用	5,814	6,615
経常利益	293,434	185,483
税引前四半期純利益	293,434	185,483
法人税等合計	96,943	61,871
四半期純利益	196,491	123,611